

日時：2016年6月19日

会場：立命館大学朱雀キャンパス 1F 多目的室1

参加人数：23名、委任状50通

- 1) 自己紹介
- 2) 会長を議長に選出、会長挨拶
- 3) 議事録確認（白井会長）→ 承認
- 4) 2015年度事業報告（花崎幹事）→ 承認
- 5) 2015年度会計報告（白石幹事）→ 承認

会計監査報告（前川会計監査）：監査上問題なし。ただし、毎年一定の余剰金が発生している。3年に一度の総会への準備金としての意味合いがあるが、現在の決算報告書上では余剰金の目的が不明である。目的を明確にしてはどうか？定期預金に移行するなどの方法もある。

その他意見：

松田幹事：学債を購入している同窓会もある。

奥田幹事：定期預金へ移行すると、使用時に不便になる。

- 6) 2016年度事業計画（花崎幹事）→ 承認
- 7) 2016年度事業予算（白石幹事）→ 承認

（郵送費について、メール便が使えなくなる場合に備えて、2015年度予算と同様に多めに設定していることを説明。）

- 8) 各種委員会報告

企画運営委員会（板野幹事）：2017年2月のイベント案内

ニュース編集委員会（金川幹事）：年度や研究室（卒業生）単位での集いのニュースが欲しい。

その他意見など：ニュースについて、紹介記事は半ページとなっているが、少なすぎるため1ページにしたほうが良い。→検討する（白井会長）。

- 9) 第3回総会開催（2017年度）について（白井会長）

通常だと2017年5頃に総会開催となるが、2018年4月で生命科学部・薬学部が設立10周年を迎えることから、2017年後期から2018年度にかけて、何かしらのイベントを開催する可能性がある。立命化友会の総会を遅らせて学部10周年記念と時期を合わせることも検討したい。第2回幹事会のところで改めて提案することとした。

- 10) 年度幹事補充の報告（花崎幹事）：山下、金子、北沢の3名を年度幹事に追加したことを報告。

その他意見：

花崎幹事：現状では年度幹事の目的が不明確になっている。若い世代を取り込むためには、就職活動支援など新たな取り組みを考える必要もある。

- 11) 同窓会名簿について（白井会長）：2005年幹事会議事録を紹介し、紙媒体の発行はしないことを改めて確認。

その他意見：

奥野幹事（質問）：研究会にて名簿を使用することが可能か？依頼事項など個別行うことは可能か？

白井会長、花崎幹事、白石幹事：現行の名簿閲覧手続きでは、所定の手続きで、名簿情報のコピーをお送りできる（資料4-4）。しかし、基本は事務局から会員に向けて発送する方針である。個別に連絡を取ることに限っては、目的など要相談。ただし、研究会の中で、会員の同意のもとで収集された情報の取り扱いについては、立命化友会が制限するものではない。

白石幹事：現在の同窓会名簿は、立命館大学校友会よりそのプライバシーポリシーを遵守することで入手している。そのため、ポリシーを超える利用はできない（資料4-3にてプライバシーポリシーを確認）。

白井会長、加藤幹事：同窓会名簿の取り扱いに関連し、「すうぶつ」ホームページの紹介。立命化友会も Web による名簿管理の可能性について検討している。会員自ら、情報開示のステータスを設定できるし、種々の有効な利用方法があることを紹介。ただし、ランニングコストが年間20万円以上見込まれるため、予算を考えると同窓会ニュースの電子版化と併せて検討する必要があることを説明。ニュースの紙媒体の必要性、名簿データを企業のサーバーに預けることへのリスクの問題、種々意見は出たが、検討を進め次回以降に改めて提案することとした。

12) 衣笠キャンパス内「相蓬訪会」記念碑の移設について説明（白石幹事）。